

広報

The Public Relations Magazine Vol.965

おうむ

謹賀新年

2012

1

Photo : 朝日の風景

年頭のご挨拶



雄武町長 中川原 秀樹

昨年3月11日の東日本大震災は、想定を超える大津波によって、甚大な被害をもたらしました。被災された方々に心からお悔やみとお見舞い申し上げます。また、大震災発生の直後から献身的な活動をされている自衛隊員をはじめ多くのボランティアの方々にご敬意を払うとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

定)の対応など、難しい局面に立たされており、その動向によっては地方自治体への影響が大変懸念されることです。現在、雄武町は、健全で安定した行政運営を推進しておりますが、今後もその動向をしっかりと見極めながら、状況の変化に適切に対応し、行政の安定的な継続を図っていかねばなりません。

私は、このような情勢を踏まえ、町長選挙において、行政運営の考え方として掲げたとおり、町づくりの指針であります。第5期雄武町総合計画に基づいて、喫緊の課題に的確に対応しながら、基幹産業の振興、教育環境の整備、福祉サービスの充実、生活基盤の整備等に努め、行政運営の基本理念としております「郷土愛に燃え、明るく豊かなまちづくり」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

郷土愛に燃え、 明るく豊かな まちづくり

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、平成24年の清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日ごろは町政に対しご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨今の国内の政治、経済は、大震災からの復旧・復興、消費税問題、歴史的な円高対策およびTPP（環太平洋経済連携協



雄武町議会議長 尾田 親晴

決意を新たに

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、平成24年の新春をご家族おそろいでお迎えのことと存じ心よりお祝い申し上げます。また、日ごろから町政に対する温かいご理解と絶大なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、タイガーマスク運動が広がりを見せたのを始めに、大相撲の八百長が発覚、3月には東日本大震災が発生して、死者

行方不明者が約2万人を数える中、併せて福島第一原発事故では、深刻な被害が起きて、いまだに復興のメドが立っていません。原子力の恐ろしさに只々唾然とするばかりです。節電、節約、自粛が叫ばれ、日本中の元気が失われつつある中、女子サッカー「なでしこジャパン」が世界一になり、国民に元気を与えてくれました。9月には野田新首相が誕生しました。しかし、方向性がどこか違うように見えて仕方あり

ません。日本は経済の再生が今、最も必要なのではないかと思えます。特にTPP（環太平洋経済連携協定）交渉では、我が町の第一次産業に及ぼす影響は、はかり知れないものがあると思えます。品質差のない物については、価格競争に巻き込まれる恐れがあり、何とか阻止をしなければと思うところがあります。一方、我が町の防災計画も見直しが必要です。特に避難場所が意外と低地にあり、避難道路にしても縦横のつながっていない所や行き止まり等があり、いざと言う時のためにしっかりと整備をする必要があります。

我が町の農業被害や林業被害は、誠に深刻な事態であり、金額に換算したとしたら、毎年相当の額になると思われま。頭数の間引き程度では、もう間に合いません。大掛かりな囲い罨や狼戦略が必要と思われま。昨年4月には、町議会議員の改選が行われ、定数を2名減の10名としての結果、現職9名と新人1名の議員で議会活動をしていくことになりました。もうこれ以上減らされないというところまで定員を削減して、2委員会は存続させたものの掛け持ちの議員さんもうらっしゃいます。最小の人員で最大の仕事をこなそうと議員一丸となり努力していかねばと決意を新たにしております。

